日本児童文学学会　12 月例会のご案内

拝啓　晩秋の候、皆様方におかれましては、ご清祥のこととお慶び申し上げます。
このたび、日本児童文学学会 12 月例会を下記の通り、オンラインで開催いたします。会員以外の方でも事前申し込みをしていただければ参加できます。ぜひ、ご参加ください。

・発表１=伊藤敬佑（白百合女子大学　非常勤）
「マルク・ソリアーノの1960年代における児童文学観　ー評論・研究と、実作・翻案を比較してー」
＜発表要旨＞　本発表では、フランスの重要な児童文学研究者マルク・ソリアーノの1960年代における児童文学観を、『児童文学ガイド』(1959)などにおける評論・研究での言説と、1960年代前半に執筆した児童文学作品3作および翻案作品を対比しつつ検討する。

・発表２＝沼本知自（白百合女子大学　児童文化研究センター）
「 子どもに語ろうとすることと、語られる言語表現との連関 ―事態把握による未明から現代に至る児童文学の分析をもとに、子ども観の変遷を考える」
＜発表要旨＞ 児童文学において語られる内容と言語表現に着目し、事態把握を用いて未明から現代へ至る作品を分析することで、子どもに対して何を、どのように伝えようとしてきたのかという子ども観の変遷を明らかにすることを試みる。

石井光恵（日本女子大学　名誉教授）

＜日　時＞　2026年12月12日(土)　１４時～１６時
＜参加費＞　無料
＜参加方法＞ Zoom を用いたオンライン開催

■参加申し込み方法　［申込締切：12 月９日（水）］
　下記 URL から Peatix にアクセスして、12 月９日（水）までに参加の申し込みをしてください。
参加費は無料です。

https://jsclevent2612.peatix.com/

　お申し込み後に Peatix より「【Peatix】日本児童文学学会 2026 年 12 月例会（東京） のチケットお申し込み詳細」という件名のメールが届きます。そのメールにある「イベント視聴ページに移動」というボタンをクリックすると、Zoom の URL が表示されます。
　12 月12 日（土）13 時 45 分から入室できます。
　お申し込み時と同じお名前で入室をお願いします。お名前が一致した方の入室を許可いたします。
　なお、発表資料の閲覧方法については、12 月１０日（木）以降、参加申し込みをした方にメールでお知らせする予定です。
　ご不明の点は、日本児童文学学会例会担当（jscl.tokyo@gmail.com）までお問い合わせください。